

令和元年度 大阪府立大手前高等学校
第1回学校運営協議会（全日制部会）

令和元年7月10日(水)
10:00～12:00
府立大手前高等学校校長室

- 1 開会・校長挨拶
- 2 「学校運営協議会」について
- 3 委員・出席者紹介
- 4 会長挨拶
- 5 協議
 - (1) 学校経営計画：昨年度評価及び今年度進捗状況等について（校長より）
 - 昨年度の総括と課題①進路実績
 - 5教科7科目センター受験者9割超
 - 昨年度の総括と課題②授業改善
 - 中身の濃い65分授業の実現・生徒の家庭学習の不十分さが課題
 - 昨年度の総括と課題③人間性の涵養
 - 「力がついた」「役立っている」肯定8割程度
 - 遅刻者数の増加 半分はSHR遅刻、自治活動・部活動満足度低下
 - ボランティア活動参加者数減少

入学者データ

地域別の変化

入学者の学力幅が他校よりも広い

今年度の課題

- ① 幅広い学力層への対応、センター5教科7科目受験者維持向上
授業改善（密度の濃い65分授業、授業公開、研究授業）
自学自習の促進、進路指導の充実（3年生のセンター試験後の授業の見直し）
- ② 行事の質の向上、内容の精選
自己管理能力を高める
- ③ 海外研修、ボランティア活動、働き方改革

◎いただいたご意見

GLHS10校の中が全クラス文理学科になり、学区撤廃の中でどの学校も生徒が広域から集まるようになってきている。近くの中学校からの進学者が減少している状況については、地元

からの魅力という観点でも見直し、あわせて大手前高校らしさ・校風を活かし、どのような目的でどのような活動をしていて、それがどのような結果につながっているかを広報の際にパンフレットなどで外から見えやすいよう工夫してほしい。

幅広い学力層に対応するために、上位層の生徒を伸ばし、下位層の生徒をサポートするかのビジョンを持ち、各教科が何を大事にしている生徒に何を伝えたいのか、そして「ここまではできるようにならなければ」という到達点を明確にすることが重要ではないか。あわせて65分授業の効果的な実施についても検討してほしい。

生徒の課程での学習については、どの層の家庭学習時間が増減しているのかなど、分析をして、今後の指導方針を考えていくべきではないか。

中高一貫校の私立とも勝負しなければならない。公立高校の指導としては、浪人してでも、本当に行きたい大学を受験するようにもっと生徒に指導してもいいのではないか。

高校入学までに叱られた経験があまりない生徒も多い中で、生活規律の確立に向けて、たとえば遅刻指導の際に「規則だから」ではなく「遅刻がなぜいけないのか」を生徒に理解させることが大事である。

さまざまな行事があるので、いろいろな個性をもった生徒がそれぞれの場で活躍できている。短時間で集中してクオリティーの高いものを仕上げているのは、大手前の良い点である。

(2) 令和2年度使用教科書の採択事務について（教頭より）

(3) その他

6 閉会

配布資料

学校運営協議会 実施要項

学校経営計画及び学校評価

令和2年度使用教科用図書を選定及び報告について（通知）

令和2年度使用教科書（選定・採択）一覧表

全日制の課程文理学科教育課程実施計画（H31年度入学生分）